



流山市立図書館で借りられる

2026年

# 中学生におすすめの本



は、請求記号。本の背のラベルに書かれています。本をさがす手がかりにしてください。



## 『図書館にまいこんだこどもの大質問』

015.9

こどもの大質問編集部／編 青春出版社

図書館では、本を使って、みんなの調べもののお手伝いをしています！ この本には、「水は透明だが、海や川が青く見えるのは、なぜか？」「動物がなぜしゃべれないか知りたい」など、図書館に寄せられた、好奇心をくすぐる質問が大集合！ あなたも、調べたいことがあるとき、ぜひ図書館に来てくださいね。



## 『君の物語が君らしく自分をつくるライティング入門』

816

さわだえいすけ 澤田英輔／著 岩波書店

誰にも読まれることのない文章を毎日書いていた著者による、「自分の楽しみのために文章を書く経験」を味わえる本。書くことについて考えながら様々なエクササイズを実践するうちに、「文章を書くって楽しい！」ときっと思えるはず。



## 『森と、母と、わたしの一週間』

913

ヤツ

やつかすみこ 八束澄子／著 ポプラ社

中学2年生の野々歩のお母さんは、おばあちゃんのお葬式の後、実家の片づけに追われて家に帰ってこない。そこで野々歩は、学校を休んでお母さんに会いに行くことにした！お母さんの暮らす田舎で様々な人と出会い、野々歩の世界は広がっていく…。「助けて」が言えないあなたの背中を押してくれる本。



## 『レモンの図書館』

933

コツ

ジョー・コットリル／作 杉田七重／訳 小学館

読書を心のよりどころにして、「わたしはだいじょうぶ」と自分に言い聞かせてきたカリプソ。パパとの二人暮らしの中で閉じていた世界は、新しい友達との出会いによって少しずつ変わっていきます。ほろ苦いレモンの香りがただよう、本当の心の強さを見つけるまでの物語です。



流山市立図書館は、夏休み期間中は毎日開館！

書名	著者	内容	出版社	請求記号
戦争は、	ジョゼ・ジョルジ エ・レトリア／文 アンドレ・レトリア／絵 木下真穂／訳	戦争ってなんででしょう？ 忍び寄り、はびこり、日常をずたずたにし、後に残るものは一。「戦争は、」から始まる各ページの言葉ひとつひとつにはっとさせられる絵本。	岩波書店	E 14
地球変動の犯人を追って、科学者、海にもぐる！	佐野貴司／著	海底に沈んだ大陸、巨大噴火、恐竜絶滅一。世界各地を探検しながら、地球で起きた大事件の謎に迫る。火山学者による、冒険気分で読める地球科学の本。	河出書房新社	455
人生で大事なことはみんなゴリラから教わった	山極寿一／著	著者がジャングルで出会ったゴリラのユニークな生き様から、人間らしさやどう生きるべきかを語ります。ゴリラの生態を知るだけでなく、人間関係になやんだ時に背中を押してくれるノンフィクション。	家の光協会	489.9
夜空にひらく	いとうみく／著	アルバイト先で同僚を殴って逮捕された17歳の鳴海円人は、補導委託先の煙火店で花火師の仕事を手伝いはじめる。犯罪の加害者と被害者、家族の在り方について、花火とともに描かれた作品。	アリス館	913 14
チャリを盗んで、夜明け	黒川裕子／著	主人公の巧海は中学3年生。ただし、貧困の真っ只中。年上の友人に誘われ「バイト」という名の盗みをする中、ある人物と音楽との出会いをきっかけに少しずつ人生観が変わり始めます。	講談社	913 14
闇に願いを	クリスティーナ・スートーンヴァット／作 こだまともこ・辻村万美／訳	総督が生み出す光に支配された街チャッタナー。刑務所育ちの少年ポンは、脱獄に成功しますが、名誉挽回を狙う所長の娘ノックに執拗に追われることに。不条理や差別に立ち向かうファンタジー。	静山社	933 14
森のユキヒョウ	C.C.ハリントン／作 中野怜奈／訳	吃音のため学校に馴染めないマギーは、祖父のいる田舎でしばらく過ごすことに。近くの森で、罨にかかったユキヒョウのランパスを助けたことをきっかけに、言葉の壁を越え、心を通わせていく。だが、森の開発と、ランパスが捕まる危機が迫り…。	岩波書店	933 14
サヨナラは言わない	アントニオ・カルモナ／作 加藤かおり／訳	12歳のエリーズは、フランス人のパパと二人暮らし。4年前に日本人のママがいなくなり、パパは悲しみのあまり日本語やピアノを禁止にしまいました。けれどある日、日本からおばあちゃんがやってきたことで、窮屈な毎日が変わり始めます。	小学館	953 14



おすすめの本 キューアル QRコード

※インターネットで予約ができます※



電子書籍 キューアル QRコード

※スマホやタブレットで本を読めます※

2026年7月発行